

令和2年6月16日
道路局高速道路課

新東名高速道路（御殿場JCT～浜松いなさJCT間） における今年度内の6車線化運用開始について

新東名高速道路（御殿場JCT～浜松いなさJCT間）6車線化事業については、平成30年6月に閣議決定された「未来投資戦略2018」において、物流の生産性向上等のために講ずべき施策として新東名高速道路6車線化等を位置付けたことを受け、同年8月に中日本高速道路株式会社に対して事業許可を行ったところです。

このうち、繁忙期を中心として交通集中が発生している長泉沼津IC～藤枝岡部IC間（延長約72km）の下り線をはじめとした区間の6車線運用（片側3車線）が7月16日に開始する予定となりました。

今後、事業の完了した区間から順次6車線運用を開始し、今年度中には、御殿場JCT～浜松いなさJCT間において、6車線運用を開始する予定です。

今回の6車線化により、大型車と普通車の混在が緩和されることによる円滑性や無理な追い越しが減少することによる安全性が向上するだけでなく、昨今、利用実績が拡大しているダブル連結トラックの安全走行に寄与するなど物流の生産性向上も期待されます。

<問い合わせ先>

道路局 高速道路課 企画専門官 依田（内線：38313）

課長補佐 渡部（内線：38314）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8500 FAX：03-5253-1619

新東名高速道路

全体延長 約289km

1998～2005開通

2016.2 開通

2012.4 開通

2020年度
開通予定

2023年度
開通予定

2021年度
開通予定

2020.3開通

2019.3 開通

2018.1 開通

調査中区間

L=30km

L=60km

L=145km

L=7km

L=26km

L=13km

L=2km

L=4km

L=2km

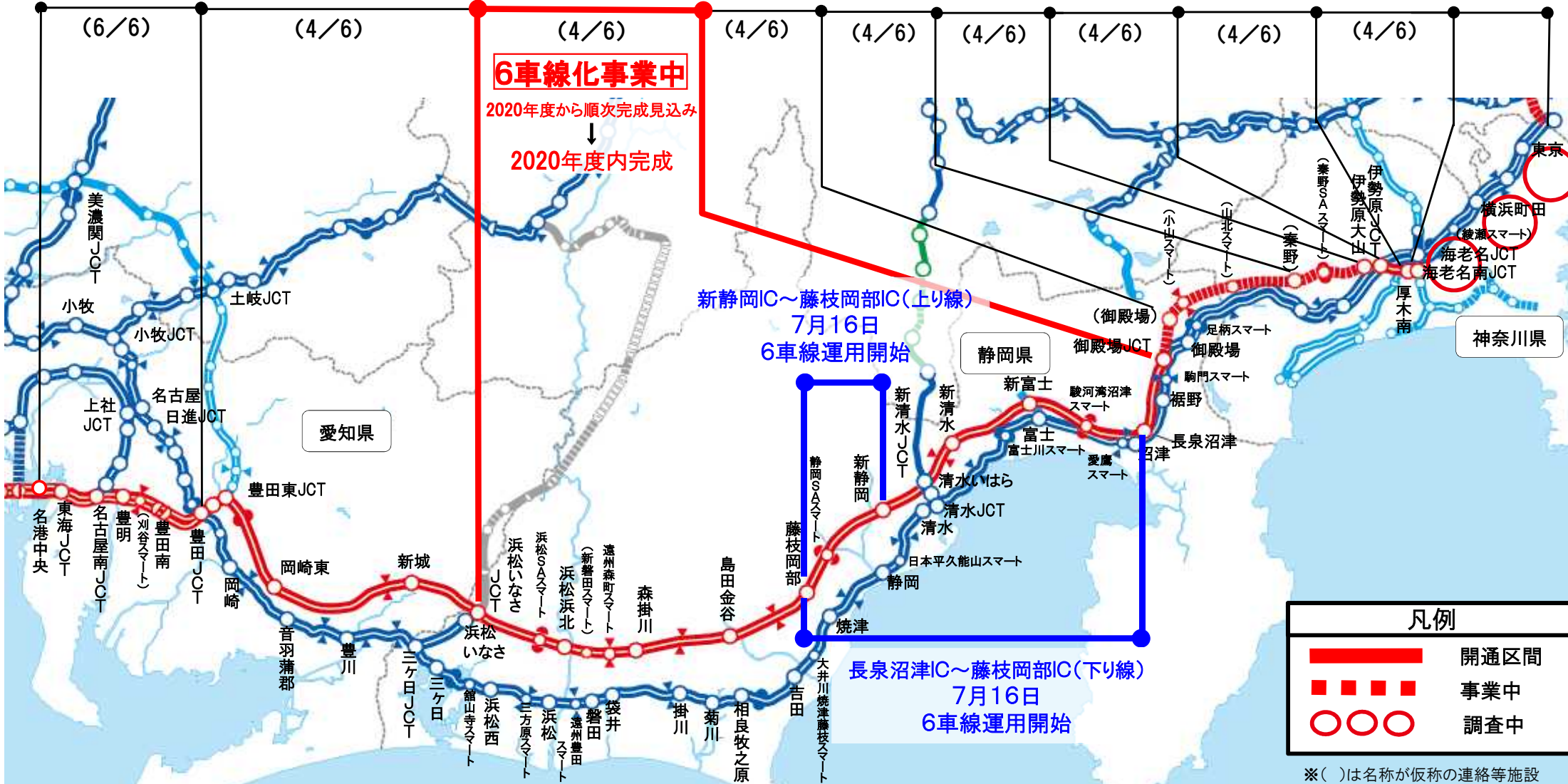
6車線化事業中

2020年度から順次完成見込み

↓
2020年度内完成

新静岡IC～藤枝岡部IC(上り線)
7月16日
6車線運用開始

長泉沼津IC～藤枝岡部IC(下り線)
7月16日
6車線運用開始



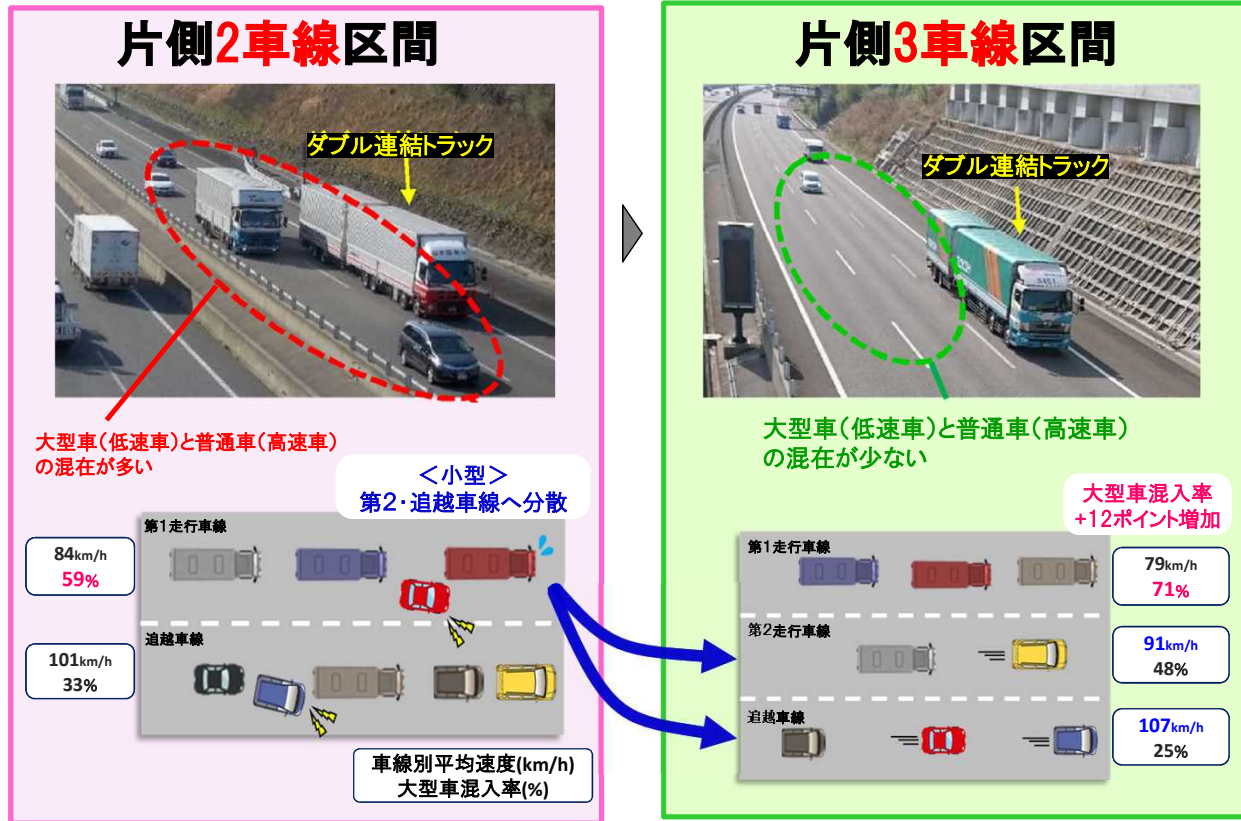
凡例	
	開通区間
	事業中
	調査中

※()は名称が仮称の連絡等施設

6車線化による効果

■円滑な走行環境への期待

- ☑ 速度差のある車両が分散されることにより、円滑な走行が期待されます。



交通量データ: 2019年10月の平日12時間(7時~19時)の断面交通量(台風19号影響日を除外)より集計
2車線区間: 森掛川IC~遠州森町SIC(上り線)、3車線区間: 遠州森町SIC~浜松浜北IC(上り線)

⇒ 昨今利用実績が拡大しているダブル連結トラックの安全走行に寄与するなど物流の生産性向上も期待されます。

■安全な走行環境への期待

- ☑ 急な追い越しなど危険な交通挙動の減少が期待されます。

【2・3車線 整備区間における交通挙動の比較】

<追越行動(急加速または急減速し、ハンドルを操作した回数)>

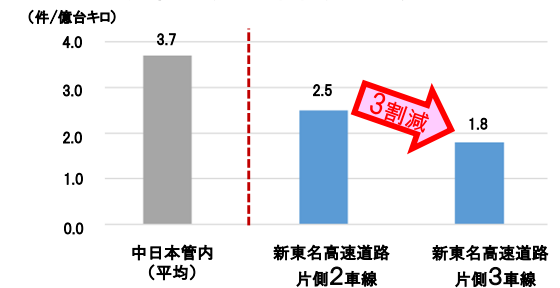
(回/2ヶ月)



※1: 前後加速度が±0.25G以下(急加速orやや強いブレーキ)かつ左右ハンドル操作(ヨー角速度0を除く)を行った件数(ETC2.0データより)。評価区間は、新東名(上り線)の森掛川IC付近における約1kmの直線区間

- ☑ 死傷事故率の低下が期待されます。

【新東名(2・3車線)の死傷事故率】

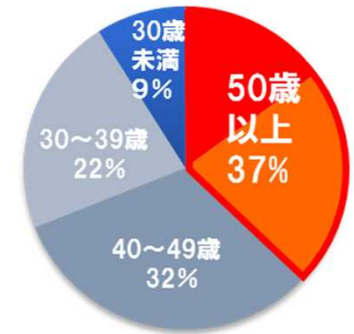


※2: 2018年事故データよりNEXCO集計

ダブル連結トラックの概要

参考

現状：トラック輸送は、深刻なドライバー不足が進行（約4割が50歳以上）



- 民間からの提案や将来の自動運転・隊列走行も見据え、特車許可基準を緩和し、**1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能**な「**ダブル連結トラック**」の導入を図り、トラック輸送の省人化を促進
- 実験状況を踏まえ、トラックの隊列走行についてインフラ面での事業環境の整備を検討

これまで 通常的大型トラック



約12m

現在 **ダブル連結トラック：1台で2台分の輸送が可能**



特車許可基準の車両長を緩和
(現行の21mから最大で25mへの緩和)



⇒平成31年1月29日より新東名を中心に本格導入
⇒令和元年8月8日より東北から九州まで対象路線を拡充